

かどや製油株式会社 袖ヶ浦工場に太陽光発電設備を導入

～再生可能エネルギーの利用で CO2 排出量を年間約 215 トン削減～

かどや製油株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長 久米敦司）は、袖ヶ浦工場（千葉県袖ヶ浦市、以下「同工場」）の屋根へ太陽光発電設備を当社として初めて設置（以下「本事業」）、2022 年 12 月 21 日より稼働開始したことをお知らせいたします。

太陽光発電設備は、太陽光パネル 927 枚、総パネル面積約 2,390 平方メートルで電池容量 442.5 kW となります。年平均の日射量等を勘案した年間計画発電量は 436,970 kWh を見込んでおり、これは標準的一般家庭の約 100 世帯分の年間消費電力に相当します。

発電された電力の全量は同工場にて自家消費いたします。これにより同工場で使用される 1 年間の電力の約 10% 相当、約 215 トンの CO2 排出削減につながります。

当社は、2021 年策定の中期経営計画「One Kadoya 2025」における SDGs への取り組みとしての CO2 削減、2022 年策定の「サステナビリティ基本方針」における持続可能な社会の実現、そして中長期にわたる企業価値の向上への取り組みとして太陽光発電設備を導入しました。

また、本事業は一般財団法人 環境イノベーション情報機構が公募の「令和 3 年度ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業（二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金）」にも採択されております。

かどや製油株式会社は長期ビジョン「変革と挑戦！健康と笑顔を届ける No.1 を目指す！」をスローガンに、安心・安全かつ価値あるごま製品を提供し続け環境や社会に配慮し、事業を通じた社会課題の解決による「ごまで、世界をしあわせに。」のミッション達成に努めて参ります。

照会先：かどや製油株式会社 経営企画部

電話 03-3492-5509

【太陽光パネル設置後の袖ヶ浦工場】



【太陽光パネル設置箇所】



